

目標達成計画

作成日: 令和 1年 12月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 我がグループホームの理念の1つでもある「笑顔」。日々忙しい業務の中気持ち良い挨拶が出来ていない。 | 人とのコミュニケーションの始まりは挨拶からです。 お互い気持ちの良い挨拶をする。 | 毎朝出勤した時、帰る時は笑顔で大きな声で挨拶をする。 | 12ヶ月 |
| 2 | 19 | 入居者がこれまで大切にしていた馴染みの人や物が途切れることのないようにお手伝いする。又、ご家族との関係性が見えてくるような環境が乏しかった。 介護者側の都合にしてしまっていた。 | ご本人とご家族との関係が途切れることのないようにお手伝いする。 ご家族と一緒に過ごしているかのように見える環境に努める。(居室内、面会時) | ご本人が今まで大切にしていた物の持ち込み、又イベントに参加して頂き共に過ごした時間を大切に、写真、お話・・・等に残して居室内へ掲示することとし、思い出作りに努める。 | 12ヶ月 |
| 3 | 27 | 前年度の継続とする事でスタッフの「記録の大切さ！」を再認識し、サービス計画にもつなげたい。 | 入居者との関わりの中でその都度発せられた言葉をメモに残しておく。スタッフで共有する。 日々の記録の内容もニーズに繋げたい。 「記録の大切さ！」も認識し次のステップにもつなげる事。 | 日々の記録は出来るだけ多くの発した言葉を書く。 仕草・表情・つぶやき等の観察もしておく。 ご家族からもその都度の状況において、意向、思いを確認する。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。